

【学校だより】

南アルプス市立小中一貫校 芦安小中学校

芦安っ子

【学校教育目標】

郷土を愛する心と夢を育み
未来を拓く人づくり

令和4年2月18日 NO.10 芦安小学校長

コロナ禍の下で

1月は「行く」、2月は「逃げる」といいます。本当に早いもので2月も中旬となりました。社会全体がコロナウイルス感染症への対応を迫られるようになってから、もうすぐ2年になります。

収束の様相を見せ安心したのもつかの間、年明けからのオミクロン株の流行のスピードは本当に恐るべきものでした。予定していた授業参加や学年部会等も案内を出しながら急に開催できなくなり、ご迷惑をおかけしました。授業参観・学年部会については、感染症の流行の様子を見ながら年度内の開催の可否を判断したいと考えています。

そのような中でも子どもたちは元気に楽しそうに日々を送っています。今号ではそんな日常生活の一コマを写真で紹介します。

【登校風景】

徒歩の子、家族が送る子、バスの子、それぞれが朝8時前後に登校してきます。校舎に入る前に健康チェックカードを提出し、検温をしてから校舎に入ります。保護者の皆様に、健康チェックカードへの毎日の記入をお願いするようになってから2年近くが過ぎました。いつもご協力ありがとうございます。



【授業の様子】



一年生の道徳の授業の様子です。道徳も他の教科と同様に「自分はこう思う」「自分だったらこうする」といった意見の交流がとても大切な教科です。この日は笛吹市の総合教育センターの指導主事とリモートで授業の参観と教師への指導・助言をいただきました。親切や思いやりとはどんなことかという問いに、子どもたちが自分なりに一生懸命考えよ

うとする姿勢がとても良かったと講評をいただきました。

【児童総会】

前期の児童総会は紙の文書をなくしてタブレット端末内の文書で提案や討議を行いました。この日は児童が各教室でクロームブックを利用してリモートで行われました。児童会テーマ「かがやこう！芦安小☆一番星」の活動内容の振り返り、委員会活動の振り返りが主な内容でした。

「今日は、リモートで総会の様子を見たが、上級生の数が少ない中で4年生以上の皆さんは全校のためにとても頑張ってくれた。また、よい質問・意見がたくさん出された。全校のみんなが児童会活動に真剣に、前向きに参加した様子がよく分かった。来年度がとても楽しみだ。みなさん全員に拍手を送りたい」と話しました。



【給食】

給食の時は、多目的室で①職員が盛りつけ、②学年ごと順番に受け取ります。③各教室で前向きで、いわゆる「黙食」で食べています。学年によっては音楽やビデオ等を視聴しています。どの学年もしっかりやっていて、児童をほめてやりたいのと同時に、このような状態が続いていることに申し訳なさも感じます。

子どもたちの望ましい成長のためには、児童同士、児童と教職員との日常の触れ合いが大切だと思います。本校では小人数の利点を生かして、そういった機会をなるべく減らさないように心がけてきました。また、今回のように流行が広がってからも、タブレット端末を利用するなどして工夫してきました。

しかし、給食は思うに任せません。個人的にも児童や生徒と一緒に食事をするときの打ち解けたひとときが大好きなのですが……。一昨年にコロナ感染症への対応が始まる前は、多目的室で全校児童と職員が一堂に会して食べていたそうです。もう一度その日が来ることを願います。



【トイレの防菌加工】

コロナ禍の児童たちのために、と甲府市の株式会社「楽く〜ん(ラクーン)」の方2名が来校し、校舎内のすべてのトイレの防菌コーティングをしてくださいました。南アルプス市の全小中学校を対象に、すべて無償で行っているそうです。

児童に向けたコロナ感染症の話になると、「〇〇を我慢してください」とか「予防のために〇〇しなさい」といった話が多くなりがちです。それはそれで仕方ないこと、必要なことなのですが、一方で多くの方々子どもたちのために尽力してくださっていること、応援してくださっていることも子どもたちに伝えていきたいと思います。



【太鼓の練習】

2月15日は今年度最後の小中合同での太鼓練習でした。宗先生の指導の下、3年生以上の小学生と中学1・2年生で取り組んでいます。長胴太鼓と締太鼓に分かれ、心地よい緊張感の中でテンポよく練習が進んでいきます。リズムをとることに集中すると音が弱くなり、音を出すことに力を入れるとリズムが崩れ、と子どもたちにとっては結構難しそうですが意欲的に



頑張っています。中学生もとても良いお手本になってくれています。

来年度の11月に開催予定の「芦安小中白峰祭」での発表に向けて、新年度以降20回程度の練習を予定しています。